

学校と地域の連携・協働研修会

職員研修
有志指導者研修
要請研修

この研修会は、コミュニティ・スクールに関わる取組事例を通して学校と地域の連携・協働の意義と推進について学ぶこと、コミュニティ・スクールを生かした地域学校協働活動について学ぶことを目的として実施しました。各市町村の行政担当者、地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター、学校関係者等、129名が受講しました。

【実践発表】高等学校・行政・地域コーディネーターの特色ある実践発表



鈴木 裕 氏



村上 真紀 氏

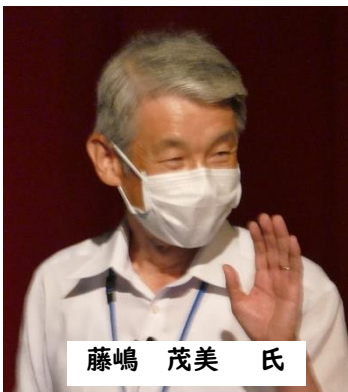


白川 光一 氏

岩手県立西和賀高等学校 校長 鈴木 裕 氏からは、「西和賀高校におけるコミュニティ・スクール導入の在り方に関する研究」について、北上市まちづくり部生涯学習文化課生涯学習係 係長 村上 真紀 氏からは、「北上市の目指すコミュニティ・スクール導入の在り方」について、陸前高田市地域学校協働活動推進員 横田小学校地域コーディネーター 白川 光一 氏からは、「地域コーディネーターによる学校支援活動」についての発表をしていただきました。

立場の異なるそれぞれの発表者の実践により、コミュニティ・スクールの導入・推進の理解や、「何をしなければならぬか」「どんなことができそうか」といった考えを深めることができました。

【講義】「八幡平市14小中学校 CSの現状とその効果～CSの導入・運営・行政関与のポイント～」



藤嶋 茂美 氏



本会場の様子

サテライト会場の様子

後半は、八幡平市教育委員会 社会教育指導員兼CSアドバイザー 藤嶋 茂美 氏にご講義いただきました。ご自身の体験談も交えながら、CSの導入・運営のノウハウだけでなく、学校・地域・行政の連携の仕方にも言及していただきました。CSは「学校や地域、児童生徒の思いや願いをかたちにするツール」であるというメッセージをたくさんの方の具体例とともに伝えてくださり、連携・協働の意義を学ぶことができました。

《受講者の声》

- ・生徒が直接地域に出向いて学び、その学びを地域に還元している点が素晴らしいと感じた。
- ・市教委とまちづくり部が連携して推進していくために、月1回の委員会を設置していることが参考となった。
- ・学校・子どもたちと地域をつなぐコーディネーターの役割の大切さを感じ、そういう方とつながることが子供たちの学びを広げ、深めることになると改めて気づかされた。
- ・体験談を伺って、CSを築き上げる過程などを具体的にイメージしながら考えることができた。

《受講者の評価》

A (有意義)	66.9%
B (どちらかといえば有意義)	32.3%
C (どちらかといえば有意義でない)	0.8%
D (有意義でない)	0%

《担当者（高橋）から》

どの実践発表も、地域学校協働活動に関わっている方々、そして児童生徒が「自分事」と捉えて活動していることがイメージできる事例でした。地域の特性に応じた地域学校協働活動の推進について考えることができました。